

【生成AIパスポート試験シラバス】  
(2025年2月試験より適用)

大項目	中項目	学習目標	学習項目	詳細キーワード
第1章 AI（人工知能）	AI（人工知能）の定義	AIの定義をはじめとした、AIの基礎的な概念を理解する	AIとは	AI（人工知能）、ダートマス会議
			AIとロボットの区別	
			AIの研究	
	AIに知能をもたらす仕組み	AIが機能するための要素とその仕組みを理解し、AIと呼ばれる由来やその性質を学習する	知能をもたらす2つの仕組み	ルールベース、機械学習、学習済みモデル、教師あり学習、教師なし学習、クラスタリング、次元削減、強化学習、半教師あり学習、ノーフリーランチ定理、ニューロン、シナプス、人工ニューロン（ノード）、ニューラルネットワーク、ディープラーニング、重み、情報の重みづけ、過学習、正則化、ドロップアウト、転移学習
			ルールベースとは	
			機械学習とは	
			機械学習の手法	
			機械学習の考え方	
			人間の脳とニューラルネットワーク	
			AIが画像を認識する仕組み	
			AIが自ら学習して改善される仕組み	
			過学習（オーバーフィッティング）	
			過学習を避ける手法	
			転移学習	
	AIの種類	実際に生活で利用されているAIと、その種類を理解する	AIの4つのレベル	特徴量、弱いAI(ANI)、強いAI(AGI)
			弱いAI（ANI）と強いAI（AGI）	
	AIの歴史	AIの誕生から現在までの変遷を学習する	第一次AIブーム	第一次AIブーム、探索、推論、第二次AIブーム、エキスパートシステム、AIの冬、第三次AIブーム、ビッグデータ
			第二次AIブーム	
			第三次AIブーム	
	シンギュラリティ（技術的特異点）	シンギュラリティの基本的な概念を学習する	シンギュラリティ（技術的特異点）	シンギュラリティ（技術的特異点）、ヴァーナー・ヴィンジ、レイ・カーツワイル、2045年問題、AI効果

大項目	中項目	学習目標	学習項目	詳細キーワード
第2章 生成AI（ジェネレーティブAI）	生成AI（ジェネレーティブAI）とは	生成モデルが誕生してから現在に至るまでに登場してきた様々なモデルの種類と手法を学習する	生成モデルの誕生	生成AI（ジェネレーティブAI）、ボルトzmanマシン、制約付きボルトzmanマシン、自己回帰モデル、CNN（畳み込みニューラルネットワーク）、畳み込み、VAE（変分自己符号化器）、ノイズ、エンコーダ、デコーダ、潜在ベクトル、GAN（敵対的生成ネットワーク）、生成器、識別器、RNN（回帰型ニューラルネットワーク）、隠れ層、リカレント層、シーケンスデータ、LSTM（長・短期記憶）、Transformerモデル、Attention層、自己注意力（Self-Attention）、Attention Mechanism、位置エンコーディング、アーキテクチャ、GPTモデル、Open AI、BERTモデル、MLM（Masked Language Model）、NSP（Next Sentence Prediction）、RoBERTa、ALBERT（a Lite BERT）
			自己回帰モデルとディープラーニング（深層学習）	
			CNN（畳み込みニューラルネットワーク）	
			VAE（変分自己符号化器）	
			GAN（敵対的生成ネットワーク）	
			RNN（回帰型ニューラルネットワーク）	
			LSTM（長・短期記憶）	
			Transformerモデル	
			Transformer登場以後の派生モデルの系譜	
	ChatGPT	テキスト生成AI「ChatGPT」の仕組みと歴史を学習し、GPTモデルの性能を理解する	ChatGPTとは	ChatGPT、GPT-1、自然言語処理（NLP）、GPT-2、パラメータ、GPT-3、InstructGPT、GPT-3.5、GPT-4、データセット、RLHF（Reinforcement Learning from Human Feedback）、アライメント（Alignment）、ファインチューニング、ハルシネーション（Hallucination）、マルチモーダル、Code Interpreter、GPTs、GPT-4o
			対話型AIの変遷とChatGPTの歴史	
			GPT-1	
			GPT-2	
			GPT-3	
			GPT-3.5	
			GPT-4	
			Code Interpreter	
			GPTs	
			GPT-4o	
第3章 現在の生成AI（ジェネレーティブAI）の動向	生成AIが出来ることと主なサービス	現段階において、生成AIを活用することで実現できる生成物を理解する	テキスト生成AI	画像のリサイズ、正規化、データの水増し（augmentation）、データ拡張技術、リマスタリング、Claude、Gemini、Sora、Runway Gen-3、Luma Dream Machine
			画像生成AI	
			音楽生成AI	
			音声生成AI	
			動画生成AI	
	ディープフェイク（深層偽造）技術	深層偽装（ディープフェイク）の危険性を理解する	ディープフェイクとは	ディープフェイク（深層偽造）技術、偽情報（ディスインフォメーション）
			ディープフェイクによる事件	

大項目	中項目	学習目標	学習項目	詳細キーワード
第4章 情報リテラシー・基本理念 とAI社会原則	インターネットリテラシー	インターネットを適切に利用するために必要なスキルを理解する	インターネットリテラシーとは	インターネットリテラシー、テクノロジーの理解、情報リテラシー、セキュリティとプライバシー、デジタル市民権
	セキュリティとプライバシー	インターネットを利用する際に潜んでいるリスクと、それらがもたらす危険性を理解した上で、生成AIの利活用に知識応用する	利用者の興味を引くフィッシング詐欺	フィッシング詐欺、スミッシング、ウィッシング、マルウェア、アンチウイルスソフトウェア、ランサムウェア、ソーシャルエンジニアリング攻撃、スピーアフィッシング、ベイト攻撃、ブラックメール、プレテキスト
			悪意のあるQRコード	
			Wi-Fiに潜む罠	
			アップロードサービスに潜む詐欺	
			不適切なコンテンツへのWebアクセス	
			ソーシャルエンジニアリング攻撃	
			プライバシー設定	
			生成AIの技術的發展に潜む脅威	
	個人情報保護の観点	個人情報の取り扱い、生成AIに関連する注意すべき点を学習する	個人情報保護法	個人情報保護法、改正個人情報保護法、個人情報保護委員会、個人情報取扱事業者、個人識別符号、要配慮個人情報、機微（センシティブ）情報、匿名加工情報、マスキング
			個人情報の詳細な定義	
			要配慮個人情報	
			機微（センシティブ）情報	
			匿名加工情報	
			生成AI活用における個人情報の取り扱い	
	制作物に関わる権利	生成AIについての法律を学習し、AI生成物を生成した人間の有する権利や責任の所在を学習する	知的財産権	知的財産権、著作権、特許権、商標権、意匠権、肖像権、パブリシティ権、不正競争防止法、営業秘密、限定提供データ、著作権侵害、名誉棄損
			生成AI 活用における知的財産権	
			肖像権とパブリシティ権	
			生成AI活用における肖像権とパブリシティ権	
			不正競争防止法	
			生成AI活用における不正競争防止法	
			AI生成物に関する権利	
			AI生成物に関する事実確認	
			AI生成物が既存の権利を侵害する可能性	
			AI生成物の著作権の所在	
	AIを取り巻く理念と原則・ガイドライン	日本におけるAIの活用に関する社会的な指針（ガイドライン）や遵守すべきAI社会原則を理解する	AI社会の基本理念	人間の尊厳が尊重される社会（Dignity）、多様な背景を持つ人々が多様な幸せを追求できる社会（Diversity & Inclusion）、持続可能な社会（Sustainability）
			AI社会原則	人間中心の考え方、安全性・公平性、プライバシー保護、セキュリティ確保、透明性、アカウンタビリティ
			共通の指針	人間中心、安全性、公平性、プライバシー保護、セキュリティ確保、透明性、アカウンタビリティ、教育・リテラシー、公正競争確保、イノベーション
			高度なAIシステムに関係する事業者 に共通の指針	
			AI ガバナンスの構築	環境・リスク分析、AIガバナンス・ゴール、AIマネジメントシステム
			AI の事業活動を担う3つの主体	AI 開発者（AI Developer）、AI 提供者（AI Provider）、AI 利用者（AI Business User）

大項目	中項目	学習目標	学習項目	詳細キーワード
第5章 テキスト生成AIのプロンプト制作と実例	LMとLLM	大規模言語モデルについて理解する	LM（Language Model：言語モデル）	LM、n-gramモデル、ニューラル言語モデル、LLM、プレトレーニング、ハイパーパラメータ、Temperature、Top-p、プロンプト、プロンプトエンジニアリング
			LLM（Large Language Model: 大規模言語モデル）	
			プロンプトエンジニアリング	
	プロンプティングの基礎	プロンプトの基礎知識を学習する	Zero-Shot プロンプティング	Instruction、Context、Input Data、Output Indicator、Zero-Shot プロンプティング、Few-Shot プロンプティング
			Few-Shot プロンプティング	
	LLMプロンプティングの実践	テキスト生成AIにおける基礎的なプロンプティング技法について学習する	文章の校正、校正箇所の確認	
			文章の整理	
			文章の要約	
			箇条書きを文章に変換、文章を箇条書きに変換	
			文章の対象を変更する	
			話者の設定を変更する	
			文章を会話のやり取りへ変換	
			例え話で理解を深める	
			数字の変換	
	テキスト生成AIを用いたビジネス応用	生成AIのビジネス応用について学習する	メールの作成	
			アンケート項目の作成	
			アンケートの分析	
			キャッチコピーの作成	
			ビジネス書類のテンプレート作成	
			アジェンダの作成	
			業務の手順を分解	
			タスクの抽出	
			外国語の翻訳	
			英単語から英文の作成	
			海外企業宛のメール文章の作成	
			ディベートを行う	
			姓と名の分離	
			ふりがなの記載	
			ブレインストーミング	
			質問させながら一緒に進める	
	テキスト生成AIの不得意なこと	テキスト生成AIの不得意なことについて学習する	正確な文字数の指定	
			計算	
			最新の情報	
			芸術の批評	

【生成AIパスポート試験シラバス改訂内容】  
(2025年2月試験より適用)

章	改訂内容	改訂日
2章	<p>【改訂ポイント】</p> <p>ChatGPTにおける新しいモデルや機能の追加に伴う見直し</p> <p>【学習項目の追加】</p> <p>Code Interpreter、GPTs、GPT-4o</p> <p>【詳細ワードの追加項目】</p> <p>Code Interpreter、GPTs、GPT-4o</p>	2024/10/1
3章	<p>【改訂ポイント】</p> <p>各種生成AIのモデルやツール名への言及を追加 様々な領域の生成AIにおいて、市場に様々な新しいモデルやツールが登場したことで、各目的に合わせたモデルやツール選定が重要視されるようになったことから、具体的なモデルやツールについても言及</p> <p>■ Section1 - 01 テキスト生成AI</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ChatGPT以外にも、Anthropic社提供のClaude や、Google社提供の Gemini などについての言及を追加</li></ul> <p>■ Section1 - 02 画像生成AI</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 画像生成AIについて、Stable Diffusion などの主要モデルの認知度が高くなってきたことから、VAEやGAN をその基礎となるモデルであるという位置付けに変更</li><li>・ Stable diffusion や DALL・E、Fluxなど主要モデルについて言及を追加</li></ul> <p>■ Section1 - 04 音声生成AI</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ OpenAI社の提供するTTSモデルなど具体的なモデルについても言及を追加</li></ul> <p>■ Section1 - 05 動画生成AI</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ OpenAI社発表の「Sora」他、2024年9月時点で話題性の高いモデルについて言及を追加</li></ul> <p>■ Section1 - 05 ディープフェイク(深層偽造)技術</p> <p>生成AIの精度向上により、従来の位置付けではその多くがこれに該当してしまうため、本改訂ではディープフェイクを「人を故意に騙すことを目的として使用されるAI技術」に変更。</p> <p>【詳細ワードの追加項目】</p> <p>Claude、Gemini、Sora、Runway Gen-3、Luma Dream Machine</p>	2024/10/1

4章	<p><b>【改訂ポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「AI事業者ガイドライン（第1.0版）」の発表に伴う見直し</li></ul> <p>2024年4月に、経済産業省と総務省より公表された「AI事業者ガイドライン（第1.0版）」では、これまで総務省、経済産業省などが個別に作成していたガイドラインを一つに統合した。これによりガイドライン各項目の位置付けが変更されたため、これに合わせて改訂</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ガイドライン構成として「A. 基本理念」「B. 原則」「C. 共通の指針」の3軸に加えて「D. 高度な AI システムに関係する事業者に通の指針」、「E. AI ガバナンスの構築」が定義されたことによる全体構成の改訂</li><li>・AI の事業活動を担う3つの主体「AI開発者」「AI提供者」「AI利用者」の定義と各主体ごとに特筆事項を整理する形に改訂</li></ul> <p><b>【学習項目の追加】</b></p> <p>共通の指針、高度な AI システムに関係する事業者に通の指針、AI ガバナンスの構築、AI の事業活動を担う3つの主体</p> <p><b>【学習項目の削除】</b></p> <p>AI利活用原則の基本理念、AI利活用原則（10の原則）の生成AI</p> <p><b>【改訂前の詳細ワード】</b></p> <p>AI社会の基本理念、人間中心のAI社会原則、人間の尊厳が尊重される社会 (Dignity)、多様な背景を持つ人々が多様な幸せを追求できる社会 (Diversity &amp; Inclusion)、持続性ある社会 (Sustainability)、AI社会原則、人間中心の原則、教育・リテラシーの原則、プライバシー確保の原則、セキュリティ確保の原則、公正競争確保の原則、公平・説明責任及び透明性の原則、イノベーションの原則、AI利活用原則の基本理念、AIネットワーク、AI利活用原則 (10の原則)、適正利用の原則、適正学習の原則、連携の原則、安全の原則、セキュリティの原則、プライバシーの原則、尊厳・自律の原則、公平性の原則、透明性の原則、アカウンタビリティの原則</p> <p><b>【改訂後の詳細ワード】</b></p> <p>人間の尊厳が尊重される社会 (Dignity)、多様な背景を持つ人々が多様な幸せを追求できる社会 (Diversity &amp; Inclusion)、持続可能な社会 (Sustainability)、人間中心の考え方、安全性・公平性、プライバシー保護、セキュリティ確保、透明性、アカウンタビリティ、人間中心、安全性、公平性、プライバシー保護、セキュリティ確保、透明性、アカウンタビリティ、教育・リテラシー、公正競争確保、イノベーション、環境・リスク分析、AIガバナンス・ゴール、AIマネジメントシステム、AI開発者 (AI Developer)、AI提供者 (AI Provider)、AI利用者 (AI Business User)</p>	2024/10/1
5章	<p><b>【改訂ポイント】</b></p> <p>誤植修正</p> <p><b>【学習項目の名称変更】</b></p> <p>■ Section4 - 06 アジェンダの作成</p>	2024/10/1

章	改訂内容	改訂日
2章	<p>【改訂ポイント】 誤植による詳細キーワードの修正</p> <p>【詳細ワードの削除項目】 パラメータGPT-3、Reinforcement Learning from Human</p> <p>【詳細ワードの追加項目】 パラメータ、GPT-3、Reinforcement Learning from Human Feedback</p>	2025/1/31
3章	<p>【改訂ポイント】 誤植による詳細キーワードの修正</p> <p>【詳細ワードの削除項目】 ユーザーエクスペリエンス</p>	2025/1/31
4章	<p>【改訂ポイント】 誤植による詳細キーワードの修正</p> <p>【詳細ワードの削除項目】 クラウドストレージ、技術的制限手段、AI生成物、持続性可能な社会</p> <p>【詳細ワードの追加項目】 持続可能な社会</p>	2025/1/31